

ワールドコーポ、タクマ プラント施工管理に ネパール出身人材

タクマでは以前から海外出身の高度人材を採用しており、今回派遣の3人には、既に活躍している海外人材のリーダー的な立ち位置での活躍に期待を寄せている。

タクマ東京支社建設センター東京工事部部長の坂戸教彦氏は、「2030年に向けて経営目標を設定している中で、国

内はもちろん海外の案件を増やすことに注力していくフェーズにいる。

まずはネパールに限らず、ベトナムやミャンマーなど多様な国の出身者を日本で受け入れることで、いずれは海外案件に携わってもらう想定」と話した。続けて「当社では、派遣という形態での海外人材の受け入れは初となるが、今の新卒社員など若い世代の刺激にもなればと思っている。成長モデルができれば海外人材の採用も軌道に乗ると期待している」とコメントしている。



タクマ東京支社建設センター東京工事部部長の坂戸教彦氏

建設業界の技術者派遣を手掛けるワールドコーポレーション（東京都千代田区）は、新卒採用したネパール出身のプラント施工管理技術者3人を、タクマ（兵庫県尼崎市）の現場に派遣した。これは両社が連携し、グローバル人材のキャリア開発を促進する新たな取り組みだ。